

佐賀広報2022-4112

2022年12月19日

積雪・路面凍結トラブル発生！

～速報 2日間で53件～

一般社団法人 日本自動車連盟（JAF）佐賀支部（支部長 前田 博憲）は、寒気の影響により平地でも積雪・路面凍結の恐れがあることから、クルマの事故やトラブルにつながることを危惧し注意を呼びかけています。

2022年12月17日（土）から18日（日）にかけて、佐賀県内各地で積雪・路面凍結がみられました。その影響により、スリップ等で道路上に立ち往生したクルマが多く、落輪引き出し、牽引・搬送救援要請が相次ぎ、17日5件、18日48件、2日間で合計53件にのぼりました。

また、今週末にも降雪が予想されています（気象庁）。これらのことを踏まえJAF佐賀支部では、積雪・路面凍結の際にトラブルを防ぐポイントを呼びかけるとともに、“安全と安心の支え”となるロードサービスを提供してまいります。

※本件数は“ロードサービス救援要請（受付）件数”であり、実施件数ではございません。

■ 積雪・路面凍結の際にトラブルを防ぐポイント

不要不急の外出と運転は控える

路面が大変滑りやすいため、事故やトラブルの危険が伴います。

【やむを得ず運転する場合】

- ・タイヤチェーン・スタッドレスタイヤ等、必ずすべり止めの措置を講じる

ノーマルタイヤでは、スリップによるトラブルや事故の危険性が高く極めて危険です。

- ・急ブレーキ・急加速・急ハンドルなど“急”のつく運転をしない

路面が滑りやすいため、スリップなどクルマが思わぬ挙動をする恐れがあります。

- ・先行車との車間距離に注意する

操舵・制動などドライバーの操作に対するクルマの挙動が通常の路面とは異なります。

- ・タイヤチェーンは路面に雪があったら早めに装着する

「まだ大丈夫」と思っているうちに、スリップしてトラブルに遭う危険性があります。

- ・陸橋を含む橋の上やトンネル出入口付近、日陰の路面は出来る限り避ける

通常の道路より路面凍結の恐れが高く、スリップによるトラブルの危険性があります。

- ・路面に積雪・凍結が現れたら無理をせず、引き返す判断をする

「他のクルマも走っていたので大丈夫と思った」などの理由でトラブルに遭うケースがあります。

タイヤチェーンなどの装備がない場合は、引き返すことでトラブルを回避しましょう。

< JAFユーザーテスト >

JAFでは雪道に関する様々な実験をおこない、映像および資料を公開しています。

※「JAFユーザーテスト 雪」で検索 または 右記二次元コードより ⇒

<https://jaf.or.jp/common/safety-drive/car-learning/user-test/snow>



このリリースへのお問い合わせは以下までお願いします。

<https://jaf.or.jp/media> または右記二次元コードより ⇒

一般社団法人日本自動車連盟(JAF)佐賀支部 推進課 担当:山崎・松尾

〒849-0921 佐賀県佐賀市高木瀬西 6-1149-5 Tel:0952-30-7000(平日 10:00～17:00)

